

● 芸劇、 変身中。

2012年9月、
東京芸術劇場
リニューアル
オープン

3号

WINTER
2012

東京・池袋にある東京芸術劇場。

昨年の4月から今年の8月まで、全面的な改修工事を行っています。

本拠地のないこの期間も芸劇は立ち止まりません。

「芸劇、変身中。」は芸劇の歩みをお知らせするフリーペーパーです。

ドキドキも笑いも苦しみも国境を越えるTHE BEE ——THE BEE English Version によせて パトリック・ハーラン

野田秀樹さんの演劇の特徴といったら、日本語を巧みに操ること、日本の伝統文化を自由にもてあそぶこと、日本の現在社会の特徴をデフォルメさせストーリーの中に織り込むことなどが思い浮かぶだろう。まったく他国へ輸出できなさそうな要素がいっぱい詰まっているってことだ。野田さんの舞台は観客が作者と同じ文化背景を共有していないと、台詞だけではなく物語の展開も理解するのに相当苦労するはず。だから数年前、野田さんがロンドンで（しかも英語で！）舞台をやると初めて聞いたとき「無謀だな～」と思ったのだ。勇気のある挑戦だが、言語の壁、文化の壁を乗り越えられるはずがないと思った。（他国のユーモアを何度も何度も日本に輸入しようとして失敗しているこの僕がこれらのバリアの高さを一番わかっているかもしれない）

しかし、蓋を開けてみると、『THE BEE』に出てくる巧みな表現も、文化の変化球も、社会風刺もうまい具合にイギリスでも通用するようになっているのだ。英語脚本を共同で書いたというが、野田さん特有の遊びも深みも皮肉も全部きちんと伝わる演劇になっている。例えば、台詞はよく韻を踏む形になっている。しかもそれが真剣なシーンに多い。または、キャサリン・ハンターさんが演じる冷徹なサラリーマンの口調は過激な口げんかの中でも、「I have no aptitude for being a victim」（僕は犠牲者になる才能はない）などと、イギリスのエリートビジネスマンが使いそうな堅苦しい言い回しにな

っている。欧米人が好みそうな高度かつシニカルな見せ方だ。日本人が野田さんの本来の舞台を見ているときと同じように、欧米の人々がドキドキしながら、笑いながら、感動しながら、考えながら、そして苦しみながら楽しめる作品に仕上がっているのだ。

考えてみれば、イギリスと日本は共通点が多い。元階級社会の島国同士だけではなく、作法へのこだわり、義務や恥の概念、本音と建前の二面性などなど、国民の性格や風土にも類似点が多く見られる。しかし、これらがあるから共感できると言っても、これは出発点に過ぎない。結局『THE BEE』が成功する秘訣はどこかの国の特徴に頼っているからではなく、逆にどこの国をも越えてしまう「野田秀樹ワールド」が 올라上がっているからだと思う。



Patrick Harlan

1970年生まれ。アメリカコロラド州出身。漫才コンビのバックンマクソンのバックン。ハーバード大学比較宗教学部卒業。コンビでの活動は15年を超え、ライブやTV番組で活躍。レギュラー番組に英会話番組でも正統的なボケとツッコミのコンビネーションを忘れない言語の壁を越えた笑いを追求。レギュラー番組に、「英語でしゃべらナイト」（NHK Eテレ）、「英語にThank you!」（TBSラジオ）、「カラダのキモチ」（TBS）などがある。



どうなるの芸劇

改修レポート

プレイハウス(中ホール)
シアターイースト(小ホール1)
シアターウエスト(小ホール2) 編

プレイハウス完成イメージ

東京芸術劇場の中ホールと2つの小ホールは、演劇やミュージカル、ダンスなどが中心に上演され、中ホールでは劇場の主催事業としては90年代に小田島雄志前館長(現・名誉館長)の下、「ミュージカル月間」に取り組んできました。

2009年に劇作家・演出家・俳優の野田秀樹が初代芸術監督に就任してからは、芸術監督の考える劇場としてのあるべき姿に向けて少しずつ方針転換を図っています。それは野田作品の上演にとどまらず、海外から良質な作品を招いたり、これからの日本の演劇を引っばっていく劇作家・演出家の公演をシリーズで紹介したり、さまざまな形で反映されています。

改修に先だってそうしたソフトの部分での改革をしてきましたが、今回はハードの改修。開館から20年経った設備の交換や修繕のほかにも、現代的な演目・演出方法に対応するため劇場の機能向上を目指しています。

足場とシートにくるまれていて、まだまだ全貌をあらわさない改修現場ですが、これら3つのホールがどうなるか少しだけご紹介します。

① プレイハウス(中ホール)

新たに「プレイハウス」という呼び名を持つ中ホール。エントランスにはシックなゲートが立ち、客席の壁はレンガで覆われます。この壁は内装デザインという意味だけでなく、懸案だった音響の改善をクリアしながらも、劇場空間全体の雰囲気を出すという2つの役割を果たすのです。

内装もシックに落ち着いた空間になるようしつらえ、これまでよりも現代演劇・舞踊用の劇場として特化し、お客様が舞台上に集中できるよう工夫しています。

そのほか、複雑だった舞台機構をシンプルにしたり、客席左右にバルコニー席や立ち見可能エリアを設けるなど、公演を実施する方々への利便性を考えた機能も追加されます。

改修後も引き続き、主に主催公演・提携公演に積極的に取り組んでいきます。

昨年11月下旬、野田芸術監督が建設現場を視察。ほり舞い立つ改修現場につき全員マスク着用。(左)右端、(右)中央



プレイハウス完成イメージ



【上】ステージ下手側からの眺め。足場が張り巡らされ元の面影がまったくないが、改めて空間の大きさを感じる。
【下】ふだんは見えない舞台機構が見られるのも工事中ならではの。

② シアターイースト(小ホール1) / シアターウエスト(小ホール2)

ブラックボックスに近いフラットな空間となるのが「シアターイースト」(小ホール1)です。床面の交換によってより安定し使い勝手のよい劇場となります。隣接する「シアターウエスト」(小ホール2)は、プロセニウムを持ったままステージ面が大きくなり、客席には見やすさの工夫がされています。また、運用面では、キャットウォークにつながる技術ギャラリーの増設で作業性が高まります。

シアターイーストでは当劇場の主催公演や提携公演といった、芸劇ならではの演目を中心に上演し、シアターウエストは、多くの芸術団体にお使いいただき、幅広い演目をお客様に提供していきます。

いずれも、新しくなった空間や機構の可能性を最大限に活かし、お客様にとって忘れられない作品を提供してまいります。



並びあうシアターイースト、シアターウエスト入り口付近の完成イメージ図。

活動レポート

レポート1 芸劇+トーク 異世代劇作家リーディング「自作自演」 @水天宮ピット 大スタジオ

第1回 | 2011年9月3日(土) 出演 | 岩松了、松井周
第2回 | 2011年11月20日(日) 出演 | 宮沢章夫、戌井昭人
トーク聞き手 | 徳永京子(第1回、2回とも)

劇作家によるリーディングとトークを組み合わせた新企画「自作自演」全4回のうち、2回が終了。70年代生まれの注目の劇作家と、50年代生まれで円熟期を迎えたとも言える劇作家が、自作の小説や戯曲の一部、あるいはエッセイを朗読したあと、語り合いました。第1回の岩松さん、松井さんは短編小説をじっくりと朗読、第2回の宮沢さん、戌井さんは最新刊の小説からエッセイまでを次々に読み上げるという対照的な展開でしたが、トークでは小説と戯曲を書くときの違いなど、個々の作家性や感覚にまつわる話題が共通して出ていました。作家同士自作のリーディングを聞き合って語るというシチュエーションは、お客様にとってもこれまでとは違う角度から作家・作品をとらえる機会になったのではないのでしょうか。

「自作自演」残り2回は2月4日(土)発売!
第3回 | 2012年3月4日(日) 17時開演 出演 | 別役実、野田秀樹
第4回 | 2012年3月20日(火・祝) 15時開演 出演 | 唐十郎、渡辺えり
トーク聞き手 | 扇田昭彦(第3回、4回とも) ※リーディング作品は、決まり次第劇場HPで発表します
【会場】水天宮ピット 大スタジオ 【料金】前売1,000円/当日1,500円 【取扱】チケットぴあ、東京芸術劇場
※本事業は東京文化発信プロジェクト事業です



〈第1回〉左から松井周さん、岩松了さん、徳永京子さん



〈第2回〉戌井昭夫さん(左)と宮沢章夫さん(右)

レポート2 東京芸術劇場こどもワークショップ 不思議な町をつくろう!「何でも飲みこむん蛇」 @池袋西口公園(第1回・2回)、豊島区立勤労福祉会館 大会議室(第3回) 2011年10月~12月 アーティスト | 長谷川仁



雨のため公園内の小屋で切り絵を作るこどもたち。熱気でムシムシ

改修中の芸劇は、白い工事フェンスで囲まれているのですが、その仮囲いを利用してワークショップを行いました。美術家の長谷川さんが、近隣の皆さんと「どんどん変化する作品」を制作。西口公園で行った最初の2回はあいにくの雨でしたが、たくさんの方にご参加いただきました。カットシートに貼った切り絵を作り、囲いに貼り出すこと3回。最終回の終了後には、大きな蛇が出現しました。今年5月ごろまで「何でも飲みこむん蛇」が囲いに入っていますので、お近くにいらした際はぜひご覧ください。

PLAY

THE BEE

English Version
東京公演
(英語上演・日本語字幕付き)



東京文化発信
プロジェクト

原作 | 筒井康隆～「筆りあい」(新潮社)より～
共同脚本 | 野田秀樹&Colin Teevan
演出 | 野田秀樹

野田秀樹の衝撃作、ワールドツアー巡回中!
NY⇒London⇒香港を経て、
2月東京に上陸!!

2012年2月24日(金)～3月11日(日)

[会場] 水天宮ピット 大スタジオ

東京メトロ半蔵門線 水天宮前駅2番出口 徒歩2分

出演 | キャサリン・ハンター、グリーン・プリチャード、
マルチェロ・マーニ、野田秀樹

[チケット情報] 一般前売開始 2012年1月14日(土)

◆チケット料金(税込)……一般 5,000円

※[25歳以下]「障害者」「車椅子」のチケットについては、東京芸術劇場のみ取扱いです。

(詳細は劇場HPもしくは下記チケット問合せ先まで)

※未就学児はご入場いただけません。

期間限定 English Version→Japanese Version運動企画

演劇史に残る傑作『THE BEE』日英両バージョン観るチャンス!

※東京公演のみ対象です。詳細は東京芸術劇場およびNODA・MAPのHPをご覧ください。

◆チケット取扱い……東京芸術劇場 チケットぴあ イープラス



『THE BEE』2007年 東京公演より ©Masahiko Yakou

[共同制作] Soho Theatre, London

[企画・制作協力] NODA・MAP

[主催] 東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)
東京都/公益財団法人東京都歴史文化財団

[詳細・お問合せ]

東京芸術劇場 チケット担当

☎03-5391-3010 <http://www.geigeki.jp/>

MUSIC

日本の管弦楽演奏史のエポックメイキング!!

オリジナル楽器オケの名門、

クラシカル・プレイヤーズ東京による

モーツァルトの協奏曲…ここに極まる。

東京芸術劇場Presents

クラシカル・プレイヤーズ東京演奏会

2012年2月11日(土) 15:00開演

[会場] 東京文化会館 小ホール

指揮・フルート:有田正広 ヴァイオリン:弓 新

クラリネット:満江菜穂子 ホルン:大野雄太 クラシカル・プレイヤーズ東京
(オリジナル楽器使用、リーダー:戸田 薫)

[曲目] W.A.モーツァルト フルート協奏曲第2番、ヴァイオリン協奏曲第3番
クラリネット協奏曲、ホルン協奏曲第3番

[チケット情報] 発売中

◆チケット料金(税込・全席指定)……S席-4,000円 A席-3,000円 B席-売完

※東京文化会館友の会割引有り ※未就学児はご入場いただけません。

◆チケット取扱い……東京芸術劇場 <http://www.geigeki.jp/>
東京文化会館チケットサービス ☎03-5685-0650
ほか

[主催] 東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

[企画制作] 東京芸術劇場

[お問合せ] 東京芸術劇場リニューアル準備室 ☎03-5391-2114

MUSIC

日本指揮界の最長老にして作曲家でもある外山雄三と
若き音楽家たちの情熱溢れる演奏がホールに鳴り響きます。
将来のスター・プレイヤーたちの演奏をお見逃しなく!

音楽大学フェスティバル・
オーケストラ 演奏会

2012年3月24日(土) 15:00開演

[会場] 東京文化会館 大ホール

指揮:外山雄三 演奏:音楽大学フェスティバル・オーケストラ
参加音楽大学:国立音楽大学、昭和音楽大学、洗足学園音楽大学、
東京音楽大学、東京藝術大学、東邦音楽大学、
桐朋学園大学、武蔵野音楽大学

[曲目] 武満 徹 弦楽のためのレクイエム
L.ヤナーチェク シンフォニエッタ
R.シュトラウス アルプス交響曲

[チケット情報] 発売中

◆チケット料金(税込・全席指定)……S席-2,000円 A席-1,500円

※未就学児はご入場いただけません。

◆チケット取扱い……東京芸術劇場 <http://www.geigeki.jp/>
東京文化会館チケットサービス ☎03-5685-0650
ほか

[主催] 音楽大学オーケストラ・フェスティバル実行委員会

東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

ミュゼ川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ)

[お問合せ] ミュゼ川崎シンフォニーホール ☎044-520-0200
東京芸術劇場リニューアル準備室 ☎03-5391-2114

施設の貸出が始まっています。

リニューアルオープン後のホールをはじめとした施設の貸出について順次受付を開始しています。

劇場HPでお知らせしているほか、東京芸術劇場リニューアル準備室ではお電話でのお問い合わせを承ります。

[お問合せ] 東京芸術劇場リニューアル準備室 ☎03-5391-2111(平日9:00～17:45)

〈現在受付中の施設〉

コンサートホール(大ホール)、プレイハウス(中ホール)、
シアターウエスト(小ホール2)、ギャラリー1(展示ギャラリー1)、
ギャラリー2(展示ギャラリー2)

WEBチケット会員(芸劇メンバーズ)を募集しています。

芸劇メンバーズへのご登録(無料)で、チケット発売や公演案内をはじめとするお得な情報をメルマガで受取れます。

会員限定の先行販売も予定しております。この機会にぜひご登録ください。

詳しくは劇場HP(<http://www.geigeki.jp/>)またはお電話(03-5391-3010)でお問い合わせください。

東京芸術劇場情報誌「芸劇、変身中。」 第3号 2011年12月31日発行 (不定期発行)

編集・発行……東京芸術劇場リニューアル準備室(公益財団法人東京都歴史文化財団)

〒171-0032東京都豊島区雑司が谷3-1-7 千登世橋教育文化センター地下1階

電話 03-5391-2111 <http://www.geigeki.jp/>

デザイン……川島弘世